

令和4年8月30日

CTを用いた日本人の顔面軟組織厚および頭蓋骨からの顔貌推定法の確立  
承認番号 (D2018-058)

研究実施期間 2019年2月20日～2024年3月31日

研究概要

身元不明の白骨死体が発見され、歯科所見などで身元が判明しない場合には、推定される人物の生前の顔写真と頭蓋骨との重ね合わせによる比較（スーパーインポーズ法）が行われます。一方、完全な身元不明の場合には、頭蓋骨から生前の顔貌を推定する復顔法が行われます。2000年代以降、法医学鑑定においてCTなどの画像解析の有用性が検討され、既に一定の理解が得られており、適宜鑑定に応用されています。しかし、白骨からの顔貌の推定に関しては、十分に情報が応用されていない状況です。当分野ならびに法医業務において連携している東京大学法医学教室では、法医鑑定のために撮影された画像検査の結果を後ろ向きに検討し、得られた画像所見を個人識別（年齢推定、身長推定等を含めた顔貌推定）に応用し、身元確認の精度向上を目指し、本研究（東京大学および千葉大学との共同研究）を行っています。

東京大学法医解剖に付された方のご遺族の皆様へ

本研究は、法医鑑定のために利用された資料・試料を用いた身元不明の白骨死体からの生前の顔貌の推定法確立を目的としたものです。資料・試料とは何を指すか、下記別項目に記載いたします。これらの資料・試料は、研究手法上、当分野ならびに法医業務において連携している東京大学法医学教室にて適宜共有して研究をいたします（共同研究）。試料採取にあたっては死体解剖保存法第2条第1項4号及び第18条に基づいて行っております。個人情報に関しては日本法医学会の見解「日本法医学会プライバシーポリシー」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（第5章、第12）に則って、研究へ利用させていただいております。情報は匿名化されており、発表の際に死者およびご遺族、その他関係者が特定されるような情報は一切発表いたしません。また、この発表によって警察の捜査や裁判に影響を与えることはありません。本研究は、東京医科歯科大学、東京大学の各々の倫理審査委員会にてこれらの倫理的配慮の方途が審議され、承認を得、かつ各々の機関の長の許可を得て実施しております。

本研究を希望されないご遺族は、協力を拒否することができます。ただし、研究発表されたことを後から知った場合に、発表内容の訂正や消去を請求することが困難な場合のあることをご了承ください。

ご不明な点やご意見がございましたら、下記までご連絡ください。

＜本研究で用いるご遺体に関する資料・試料＞

各法医解剖事例において、通常の鑑定に必須の概要および鑑定の結論：年齢、性別、死亡時の詳細な状況、既往歴、家族歴、死後経過時間など。

- ・ 解剖時得られる、通常の鑑定に必須の記録：身長、体重、外表所見、画像所見（CT等）、鑑定結果（年齢、身長、性別推定）など。

共同研究機関

東京大学（研究協力機関：千葉大学）

研究責任者 岩瀬博太郎

研究資金と利益相反

運営費、科研費（21K06362）を用いて行われます。本研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合の良いものになっていないか・研究結果の公表が公正に行われていないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

苦情窓口

東京医科歯科大学歯学部総務係 03-5803-5404

（対応可能時間：平日 9：00～17：00）

連絡先

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科法歯学分野

研究責任者 宇都野創

FAX：03-5803-4163